

# 印西市の市民参加条例をつくる会

第2号

## ワークショップニュース

2006.12

事務局：印西市総務部企画政策課企画政策班  
印西市大森2364-2 0476-42-5111 (代)

### みんなで考えよう！印西市らしい市民参加について！

市では、市民のまちづくりへの参加の基本的なルールとなる市民参加条例の策定に向け、平成16年度から市民の皆さんに参加をいただき、ワークショップなどにより、印西市にふさわしい市民参加条例についての意見交換を行ってきました。

今年度は、条例策定に向けた第2ステージと位置付けして、市民参加条例案の作成を行う「印西市の市民参加条例をつくる会」を設置し、条文案づくりを進めています。

今回は、「つくる会」の第5回から第7回（第1ステージから通算で21回）までの話し合いの概要を報告いたします。



#### ～市民参加条例策定の全体の流れ～

H16. 5. 20～H18. 6. 30

第1ステージ

- ◆第1回市民会議～第4回市民会議  
〈条例作りについて〉
- ◆第5回市民会議～第10回市民会議  
〈他事例の研究〉
- 地区市民会議
- ◆第11回市民会議～第14回市民会議  
〈今後の進め方〉
- 中間報告



第2ステージ

- ◆第1回つくる会 (15) H18. 7. 14
- ◆第2回つくる会 (16) H18. 7. 20
- 市民参加講演会 H18. 8. 10
- ◆第3回つくる会 (17) H18. 8. 10
- ◆第4回つくる会 (18) H18. 9. 22
- ◆第5回つくる会 (19) H18. 10. 11
- ◆第6回つくる会 (20) H18. 10. 27
- ◆第7回つくる会 (21) H18. 11. 14
- ◇第8回つくる会 (22) H18. 11. 29
- ◇第9回つくる会 (23) H18. 12. 15

★パブリックコメント 1/5(金)～2/4(日)  
★地区説明会 1/28(日)  
1/30(火)

- ◇第10回つくる会 (24) H19. 1. 19
- ◇第11回つくる会 (25) H19. 2. 14
- ◇第12回つくる会 (26) H19. 3. 13

★条例案を市長に提出 H19. 3. 28

条例素案の検討

条例素案の作成

条例案の作成・決定

#### 地区説明会

「つくる会」で検討している市民参加条例の素案について、地区説明会を開催いたしますので、是非、ご参加ください。

□平成19年1月28日(日)

午前10時～ ふれあい文化館  
午後2時～ 小林公民館

□平成19年1月30日(火)

午前10時～ 印西市文化ホール  
午後2時～ 中央駅前センター

## 第2ステージ (H18.7.14～H19.3.31)

### ◆第5回つくる会(19) H18.10.11 ～参加の内容と方法について考える～

第5回の検討テーマは、「市民参加の内容と方法」でした。3つの論点に整理して説明した後、グループで2つ以上の論点を選び議論をしました。

#### 論点1：市民参加の方法について

##### 解説

- \* 具体的に、この条例に市民参加の方法が書かれていた方が明確になるのではないかな。
- \* 審議会やパブリックコメントからいきなり住民投票ではなく、その間を埋めるような、多様な市民参加の方法も検討されているのではないかな。

##### 意見の抜粋

- o 構想等でなく、もっと具体的な事例について、市民が参加できる仕組みづくりが重要。
- o 常設市民会議等による地域的な問題を検討する場を増やす。
- o 市民参加の方法で、悪用されることも考えられる。
- o 印西市を好きになるようにしなくては。どいう市になれば好きになってもらえるか。
- o 公園管理をもっと住民にゆだねて。

#### 論点2：市民一人一人の気づきの声を育てる仕組み

##### 解説

- \* 自分が参加に対して、どう表現したいかということ。お金で表現する人もいるし、自分の時間を割くという表現する人もいるというように、少し幅広く考えてはどうか。
- \* 計画し実行していく仕組みを、出来るだけ身近な所で作るのも、参加がしやすい行政のやり方に入る。
- \* 身近なところから発想して自分たちの考え方、使える時間やお金を集められる力を活かせると、新しい可能性が、自分たちの想いを具体化するのにふくれていくのではないかな。

##### 意見の抜粋

- o 情報公開を市がもっと積極的に行うべき。
- o 印西にふさわしい多様な市民参加方法があれば、もっと気づきの声を育てる仕組みづくりが出来るのではないかな。



#### 論点3：予算策定への市民参加の現実的な方法

##### 解説

- \* 条例にうまく載せられない部分として、予算に関わる問題がある。難しい課題だが、そういうものに取り組んでいる小さな自治体も出てきている。

##### 意見の抜粋

- o 市民活動をしていると財源問題が非常に重要。
- o 参加して意見を言うからには市民も学習が必要。(出前講座なども利用)
- o 予算編成過程が市民に分からない。何を優先して何を削るのか、市民に金額を含めて分かるような形があれば良い。

## ◆第6回つくる会(20) H18.10.27 ～各主体の責務と役割について考える～

第6回のテーマは、「市民の責務・役割」と「市の責務・役割」でした。最初に、他市の市民参加条例の「市民の責務・役割」「市の責務・役割」がどう書かれているのか条例文を読み比べ、印西市職員としての本音を聞きました。

その後、グループに分かれて、参加条例によって市民や市職員にどんな可能性が広がるのか、条例文をどう書いたら市民に分かりやすいのかという点について話し合いました。

### 論点1：市民参加条例によって印西市民には、どのような可能性が広がるか？

#### 解説

- \* 参加は義務か、権利か？印西市の場合、どのような書き方をすれば市民にわかりやすい条例となるのか？
- \* 参加を本当に市民は願っているのか、参加によって市民は何を得ようとしているのか。

#### 意見の抜粋

- 計画段階から参加しやすくなり、市民の知恵（意見）を結集できる。
- 行政の判断基準に市民の感覚をおりこめる。
- 市民が意見をいえる場があれば、他地区の人の意見も聞けるし、市民みんなの意見統一もできるのではないかと。
- 市民が行政に責任を持って提案できる。
- 個々の利益ではなく、印西市全体の（地域を越えて）利益を考えて参加することによって、ステキな印西市になる、市民参加が成功する。
- 参加は意見表明だけでなく、主体だ！

### 論点2：市民参加条例によって印西市職員には、どのような可能性が広がるか？

#### 解説

#### <市職員の本音>

- \* ルールが決まれば、仕事がやりやすくなる。
- \* かえってスピードは鈍るのでは？
- \* サイレントマジョリティはどうなる？

#### <講師からのコメント>

- \* 役所と協働する現場で行われる「参加」は、市民や行政職員の意識を大きく変えていく可能性を持っている。このような「参加」を積極的に拡大していければ、意見を言わなければならない条例の作り方ができると思う。

#### 意見の抜粋

- 市民のニーズが把握され、また市民と接触する機会が多くなり、職のレベルアップのキッカケになる。「やる気」も増す。
- 市民がどんな要求を持っているか、どんなアイデアを持っているか、どんなことに自ら取り組みたいと思っているのか。条例ができることで、つかむことができる。
- 仕事に自信が持てるはず。満足感、やりがい。
- 市民のために「やらなければ」という義務的思考から、「市民と一緒に造り上げていこう」という希望の有る考えになっていく。



## ◆第7回つくる会(21) H18.11.14 ~前文、目的、基本理念、推進体制について考える~

第7回は、「前文」「目的」「基本理念」「推進体制」をテーマに検討を進めました。印西市市民活動推進条例や他市の参加条例の前文を読み上げ、今回の条例前文に入れたい内容を個人で考えてグループ内で発表し合いました。その後、講師から推進体制について、事例を交えながら提案をしていただきました。それらを踏まえて、グループで2つの論点について話し合いました。

### 論点1：市民参加条例に対する理解を広めて、印西市の市民参加を活発なものにしていく推進体制についての具体的な提案

#### 解説

#### ＜大和市民活動推進条例の事例から＞

- \* 推進委員会の設置も、それぞれの条例によって違いがある。

#### 意見の抜粋

- 市民参加の推進をしていくので、年度目標を作り「この分野は市民参加の度合いがどうか」、「推進がどうか」をきちんと目標を持って会議自体が管理していく形でやっていくべきだ。
- 行政と市民のメンバーによる推進会議を置く。
- 委員会（推進会議）とは別組織（ワークショップ形式）を平行してつくる。（自由参加）
- 子どもの参加。高齢者の参加。

### 論点2：条例の「前文」「目的」「基本理念」の部分で是非活かしたいキーワードは？

#### 解説

- \* 前文は、いろいろな議論を重ねる中で、どういう内容にするか、付けるか付けないかも含めて、最後まで議論を続けた方が良いと思う。

#### 意見の抜粋

- 市民活動推進条例との違いを明確にし、市民に分かりやすい条例のネーミングが必要
- 条例が絵に描いた餅にならないために、推進体制の役割が重要であり、参加条例を実効あるものにするには、推進体制をバックアップできる環境作りが必要と思います。
- 条例の策定は通過点で、その後の市民参加の推進が重要だと思えますが、具体的な推進体制の事となるとかなりむずかしい。継続性と発展性を担保させる推進体制が必要なのではと思います。



## パブリックコメントについて

素案について、市民の皆様からのご意見を募集（パブリックコメント）します。いただいたご意見を参考に「つくる会」で内容を検討し、条文化していきます。なお、条文化された条例案については、改めてパブリックコメントを行う予定です。



- ◎条例素案の配布方法 町内会回覧の他、市役所、各出張所、各公民館でも配布
- ◎受付期間 平成19年1月5日(金)～平成19年2月4日(日)(消印有効)
- ◎意見等の提出方法 印西市役所企画政策課まで（Eメール・FAX・郵送等で）  
FAX:0476-42-7242 E-mail:kikakuka@ml.city.inzai.chiba.jp